## ツキノワグマによる人身事故防止のために

秋から初冬にかけては、冬眠前のツキノワグマが食料を求めて人家や納屋、果樹な どにやって来る可能性が高くなります。

クマを集落や農地に寄せ付けないよう、また、不意にクマに遭遇しないよう、特に 次の点に注意しましょう。

## ! クマを近づけないためのポイント!

## 1 ゴミを屋外に置かないようにしましょう

ゴミ(特に生ゴミ入りのもの)はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。 また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置もしないようにしましょう。

## |2 食料は、クマに気づかれないところに収納しましょう

匂いに敏感なクマが、屋外や納屋などにある食料に気づけば食べにくる恐れがあります。 クマが気づかないよう、果物、穀物、ペットフードなどは厳重に保管してください (納 屋・倉庫などの戸締りもしっかりとしましょう)。

## 3 果実は早めに収穫しましょう

クマの好物である柿や栗は早めにもぎ取って処分しましょう。 販売用などで必要な場合は、木の根元にトタンを巻くか、電気柵で周囲を囲むようにし ましょう。

## 4 できるだけヤブや草むらを刈り取りましょう

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブや草むらがある場合は、できる限り刈り取っ て見通しをよくし、出会い頭の接触を防止しましょう。





## 森林や、その付近に行くときは音の出るものを携行しましょう



森林や、その付近に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、鈴やラジオなど 音の出るものを身に付けましょう。



特に雨の日や川沿いの場所では、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいため、大き な音を出して人間の存在を知らせましょう。

## 人里でも夕方から朝までの外出は特に注意しましょう

クマは夕方から早朝の間に人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、絶対に柿の木 や栗の木の近くなどクマがいそうな所に近づかないでください。

#### ※クマを目撃した場合は、下記の担当部局に報告をお願いします。

- 問合せ先 ●宍粟市農業振興課 Tel 0790-63-3109 ●一宮市民局 Tel 0790-72-1000

  - ●波賀市民局 Tel 0790-75-2220
- ●千種市民局 Tel 0790-76-2210

## 被害対策 出会わない!呼び寄せない!

## ばったり出会わないために

1 山林に行くときは音の出るものを携行しましょう

山や森林付近の農地に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、 鈴やラジオなど音の出るものを身に付けましょう。とくに雨の日や川沿い は、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいので、大きな音を出しましょう。



2 人里でも夕方から朝までの外出は注意しましょう

クマは夕方から早朝にかけて、人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、カキや クリの木の近くなど、クマがいそうな所に近づかないでください。

## 悪いクマにさせないために

集落への出没や、農作物被害を放っておくと、クマの 行動がエスカレートして、悪いクマになっていきます。

## 1 誘引物の除去

・ゴミを野外に置かないようにしましょう ゴミ(とくに生ゴミ)はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。 また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置も厳禁です。



・食料は、屋内に収納しましょう

クマは臭いにとても敏感です。屋外や侵入できる納屋などにある食料に気づいて、食べにくる恐れがあります。果物、穀物、ペットフードなどは要注意です。

・不要なカキやクリの木は伐採しましょう

収穫しない不要なカキやクリの木は、出来るだけ伐採しましょう。 伐採が困難な場合は、防護するか、果実を早めに取り除きましょう。



カキの木の伐採

## 2 環境整備

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブがある場合は、刈り取って見通しをよくしましょう。





## 3 防護

#### トタン巻き

クマが登るカキやクリで不要なものは 出来るだけ伐採しましょう。切れない木 には、幹にトタンを巻きつけ、クマが登 れないように防護します。



#### 電気柵

果樹園や養蜂巣箱は、電気柵で守りましょう。クマの侵入ルートがわかっている場合は、周辺のヤブを刈り払い、侵入ルートを横切るように電気柵を張ります。



## 安全の三原則

- 1 自分の安全は自分で守る
- 2 ルールーを守る
- 3 危険を予知する

## 『ハチ対策』

害虫防除事業組合資料より

一般にハチは刺すという印象があります。

しかしその多くは刺すことはなく、人に被害を与えるのは一部の限られたハチです。 社会生活を営むハチは巣を守る本能から、刺激に対して激しく攻撃してきます。 ミツバチ、アシナガバチ、スズメバチなどが代表的な社会性を持つハチであり、特にスズ メバチは社会的問題になるほど被害が多く、国内でもハチの刺傷により年間数十人の死亡 者がでるほどです。

## 種類 スズメバチ

## スズメバチ

体長約 40mm。成虫で越冬した女王バチは早春に営巣を始め、働きバチの出現後次 第に巣は大きくなる。

夏から秋にかけては働きバチの個体数の増加と巣の大型化により、攻撃的になる。 晩秋、雌は新女王として越冬に入り、働きバチはすべて死亡し巣は空になる。



- 25~40mm と身体が大きい
- **身体の色がオレンジ系**
- 足が黒色



初期はフラスコ型



成長すると丸型



- ●濃いマーブル模様で巣穴は1つ
- ●木の枝や軒下だけでなく、土の中に巣を作るものもいる



刺されたときは、速やかに患部を流水で洗い、冷水か氷で冷やし、医師の診断を受ける。 刺されると体質により症状は異なるが、まず激痛から始まり、局所の腫れ、かゆみへと変 化していく。

ハチアレルギー体質の人は、刺されるとアナフラキシーショックをおこし、最悪の場合は 死に至ることがある。

過去に刺された経験のある人は特に注意する必要がある。



## 対策

駆除や巣の除去は非常に危険であり専門家に依頼するのがよい。

特にスズメバチは攻撃性が強く、最盛期には個体数も増加する。

不用意に巣の近くやハチの通り道に近づいただけでも攻撃されることがある。

人が出入りに使う場所や、子供がいたずらしそうな場所に巣があるときは、早いうちに専門家に相談するとよい。

むやみに市販薬を用いて素人が手出しをすると被害に遭うことが多い。

スズメバチ・アシナガバチの巣は一代限りで翌年は使用せず、冬季には空になる。

スズメバチ・アシナガバチの、人通りのない場所や高所など被害に遭うおそれのない場所 の巣であれば、巣が空になる冬まで待って除去することも可能である。

しかし、安易に除去を怠ると思いもかけない被害に遭うおそれがある。

巣を発見したりハチの飛来が多い場合は素人判断せず速やかに専門家に相談する。

日本には約 4000 種以上のハチが生息すると言われていますが、特に人を刺す危険性が高いのはスズメバチ、 アシナガバチ、ミツバチの 3 種類です。

主なハチの種類とその特徴は以下の通りです。

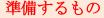
スズメバチ日本に生息するハチの中で最も大きく、攻撃性が非常に高いです。体は黄色と 黒の縞模様が特徴で、オオスズメバチはオレンジ色の頭部を持ち、体長は最大 4cm にもな ります。

- 巣は地下や木の穴、木の枝、建物の軒下などに作られます。
- キイロスズメバチは都市環境に順応し、人への被害が最も多い種類です。
- 毒性が強く、巣を守るために積極的に攻撃行動を起こします。

巣をつくらせない 手軽にスズメバチ対策

スズメバチは4月~5月にかけて巣作りを始めます。この時期にトラップ(罠)を仕掛けて巣を作る女王バチを捕まえることで、巣が作られるのを予防する効果が期待出来ます。巣が出来る前に対策してみませんか。

- ・ペットボトルに、下図のように2センチ角の四角い穴を4ヶ所あけます。
- 誘引剤の材料をよく混ぜ合わせます。
- ・注意書きのステッカーを貼り、ひもをつけて完成です。

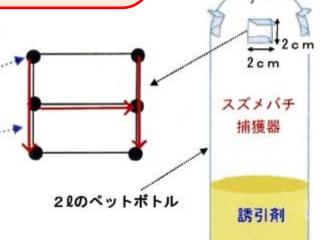


- ペットボトル (1,5~2ℓ)
- ・カッターナイフ
- ・マジック
- ・ビニールひも
- 誘引剤(酒300ml、酢100m 砂糖100gを混ぜたもの)

① 2 c m四方の正方形を描く

② 千枚通しで穴をあける (6ヶ所)

③ 赤線の部分をカッターで切込む(3ヶ所)



## 設置場所

働きバチが増える6月以降は危険が増します設置しないようにしましょう

- ・作業はハチが活動する日中を避け、早朝か日没後に行う
- ・人が通る場所を避け、子どもの届かない高さ(2m程度)に設置する。
- ・直射日光を避ける。
- ・「危険!スズメバチ捕獲中」などの警告の張り紙をして周囲に知らせる。

## 回収・廃棄時の注意

捕獲器の回収時期は設置してから2週間程度。時期が過ぎると誘引剤の入れ替えが必要 捕まえたハチが死んでいることを確認する

―スズメバチ以上―

## ・アシナガバチ

- 細長い体と長い足が特徴で、飛ぶ際に後肢を垂らす習性があります。
- 巣は軒下や植物の茂みに作られることが多いです。
- セグロアシナガバチはアシナガバチの中でも攻撃性が高く、市街地でもよく見られます。
- キアシナガバチはアシナガバチの中で最も攻撃的で、刺された時の痛みが激しいとされています。



## アシナガバチ

10~30mm で、身体が細 長い

身体の色が黄色っぽい 脚が黄色っぽい 後ろ脚を垂らして飛ぶ





# アシナガバチの生活史

4月中旬頃   新女王	バチが越冬から覚め、樹液などの水分をとりながら巣作りの準備を始
	。 チが1匹で巣を作り、産卵・幼虫の世話をします。
7月上旬~8月上旬	働きバチが誕生し、巣作りや幼虫の世話をします。女王バチは産卵に
	専念するようになります。
7月下旬~8月中旬	巣の大きさや働きバチの数がピークとなり、活動が活発になりま
(最盛期)	※この時期に巣を刺激して刺されることが多く注意が必要です。
9月頃~10月頃	新女王バチとオスバチがそれぞれ数十匹誕生し交尾を始めます。種類
	によっては、巣から離れて家の壁や庭木に群がります。
	※このときは、人を攻撃することはあまりありません。
11月~3月	旧女王バチ・働きバチ・オスバチは死に絶え、新女王バチだけが巣か
(越冬期)	ら離れた石垣や朽木の隙間で越冬します。巣は1年限りで中は空にな
	り、同じ巣を使うことはありません。

まずはできるだけ近づかず、騒がず、巣を刺激しないようにします。

冬になりハチが出入りしなくなるまで、十分に注意しましょう。

営巣場所にもよりますが、そっと見守ることも一つの方法ですし、生活に支障があれば駆除をするという選択肢もあります。

※アシナガバチの巣は1年限りで中は空になり、残った巣が翌年に利用されることはありません。

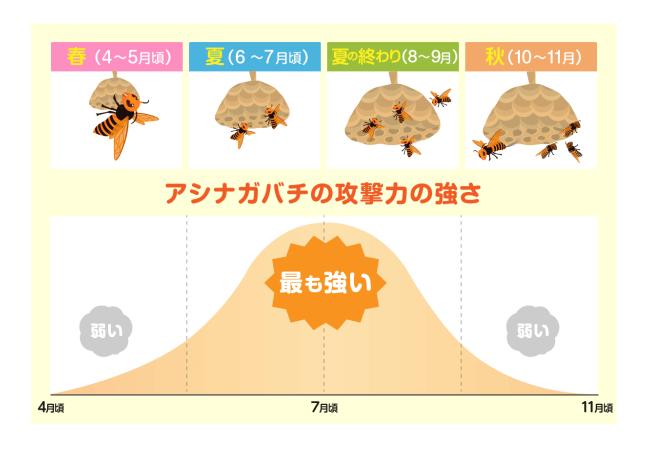
## ご自身で駆除する場合

アシナガバチは殺虫剤に弱いため、比較的簡単に駆除できます。

ご自身で駆除する場合は、刺されないよう安全に十分に注意して行ってください。

作業は、夜間に周囲に明かりがないことを確認して行います。 暗闇ではハチの活動が鈍るので、比較的安全に作業することができます。

アシナガバチは、基本的におとなしいハチであり、巣を刺激しなければ人を攻撃すること はありません。自然界では、農作物や庭木に付く毛虫やイモムシを食べたり、花粉を媒介 するなど、益虫として役立っています。



―アシナガバチ以上―

## ミツバチは世界でも9種類しかいません。そのうち日本にいるのは

## セイヨウミツバチと ニホンミツバチの2種類です

## ニホンミツバチ

## セイヨウミツバチ





## ミツバチ

体長約5mm。分封のために集団で飛来し、庭木の幹や枝に数百匹がボール状に群がっていることがある。

ほとんどの場合は2~3日で他へ移動してしまう。

刺されると痛みは弱いが、大量に刺された場合は身体に影響を及ぼすことがある。

**慌てず**素早く針を抜き取ってください。早く抜き取らないと毒がどんどん入り腫れが大きくなります。その後、水で洗って氷で冷やします。多少腫れたり、痒みが出ますが、数日で治ります。まれに、蜂毒のアレルギー(アナフィラキシー)の人がいて、血圧が下がったり、嘔吐、呼吸困難などのショック症状が出ます。ショック症状が出たらすぐに病院に行くようにしてください。

基本的に蜂や巣に危害を加えなければ攻撃してくることはありません。ですが、 野生のミツバチは民家に入り、巣を作ることがあります。それが巨大になると、 膨大な数のミツバチが民家に生息することになってしまいます。ミツバチには、 女王蜂、雄蜂、働き蜂の3種類の蜂がいます。種類によっても、役割は大きく変 わっていきます。

## 女王蜂

ひとつの巣の中には何万匹とミツバチがいるなかで、1 匹だけ大きな体の蜂がいます。これが女王蜂です。女王蜂はほかのミツバチと比べて 2 倍ほどの大きさで、唯一卵を産むことができます。女王蜂は 1 分間に 2 個のペースで卵を産みますこれは、1 日に換算すると約 2,000 個もの卵を産むことになるのです。女王蜂は働き蜂と違い長寿で、7 年ほど生きます。

働き蜂 No6

ミツバチのなかで最も多い種類の蜂で、**多い時期だと約5~6万匹**にも増えます。働き蜂はすべてメスですが、**卵は産みません**。働き蜂は、生まれたときから巣房という蜂を育てる部屋の掃除をおこない、それ以降も幼虫の世話やエサである蜜や花粉の採取などをおこないますエサがたくさん採れる花の咲く時期は休みなしで働くため、働き蜂は 1~3ヵ月で寿命を終えてしまうのです。

#### 雄蜂

働き蜂より少し大きめの蜂で、繁殖のためだけに生まれてきます。働き蜂のように毒針もなければ、エサを持ってくる能力もありません。晴れた日には朝から夕方まで、巣から出て新しい女王が来るまで飛び続けます。新女王蜂が性フェロモンをまき散らしながら飛び上がると、雄蜂は女王蜂を追いかけて飛んでいきます。飛ぶ力がすぐれている雄蜂1匹だけが空中で交尾し、交尾が終わったあと、その雄蜂はショック死してしまいます。交尾に失敗した雄蜂は巣に戻って生活しますが、秋になりエサが集まらなくなると、役立たずと認定されて巣から追い出されて死んでしまいます。

## 温厚なミツバチも人を刺す

ミツバチは、こちらが危害を加えない限りめったに刺すことはありません。 しかし、**刺激を与えると敵とみなされ攻撃してくる**ことがあります。

ミツバチの針は、刺さると蜂から抜け、人体に残ります。

人を刺したミツバチは、その場を離れようと針と毒を送り込む産卵管を切り離しますが、**針と内臓の一部を失ったミツバチは死んでしまいます**。

この針は毒性がとても強く、強いにおいを発して**ほかのミツバチを誘います**。 もし刺された場合は、毒針を抜いて、水や葉で刺された部分を洗い流したりこすっ たりしましょう。

# 

ーミツバチ以上一

資料提供: ろくろしの野人

## ろくろしの森キャンプ場情報

## ヤマビル吸血被害防止対策





## ヤマビルに噛まれないための対策

長袖・長ズボン・タイツ・ストッキング

専用スプレー ・食塩水をかける

地面に物を置かない 地面に触れない

地面に座らないこと

# ヤマビルに噛まれた場合の対処

- 1 専用スプレー・食塩水をかける
- 2 塩をかける
- 3 火をかける
- 4 傷口を洗う

簡単で手軽に手に入るのが食塩、30%濃度の食塩水を作りスプレー付ボトルに入れて使用する。食塩は粉のままで直接ヒルにかける。ナメクジと塩、同様の効果がある

ヤマビルは、山林の日陰で湿った場所や、吸血対象となる野生動物が通る場所に生息しています。

- 生息環境 ヤマビルは陸生のヒルですが、落ち葉の下など湿気の多い場所を好みます。渓流 沿いのコケが多い場所にも多く見られます。乾燥が苦手なため、雨上がりなど湿っている 時に特に活発に活動します。
- 活動時期 4 月から 11 月にかけて活動し、特に気温が 20 度を超えると活動が活発になります。6 月から 9 月は生息密度が高まり、雨中や雨後は特に活動が活発になります。
- 移動 人や動物が吐く息に含まれる二酸化炭素や体温、振動、臭気に反応して移動します。 尺取り虫のように身体の前後の吸盤を使って移動し、林床では1分間に約70cm、衣類の上 では約130cmと比較的速く移動できます。足元から取り付くと、1分ほどで首筋まで到達 することもあります。

ヤマビルは地面から這い上がってくることが多く、木の上から落ちてくることは稀です。

## ヤマビルが生息しにくい環境づくり環境整備

ヤマビルは乾燥した環境を嫌うため、日当たりや風通しを良くすることが重要です。具体的には、不要な樹木の伐採、草刈り、落葉さらいなどを行い、見通しの良い空間を作ります。刈り取った草や落ち葉は、そのまま放置せず、乾燥させるか、土に埋めるなどして適切に処分します。

令和7年夏 ろくろしの野人

090-1963-6817 ueki6964@yahoo.co.jp

## 野外活動 マムシ・ヤマカガシ 人身事故防止のために

### マムシ

マムシはネズミやトカゲなどを主食とし、牙に強い毒を持つ毒蛇です。アブ・ブヨと同様に水田や川などの湿地を好みます。大きさは 40~70cm ほどと小さめで、人が近づいても逃げ出すことなくじっとしていることが多く、大人しい性格であることが特徴ですが、それゆえに気づかず踏みつけてしまうことなどで攻撃され咬まれることがあるので注意が必要です。



#### \*マムシの対策方法

マムシは基本的には大人しい性格です。こちらから刺激を与えない限りは攻撃してくることはないため、見つけた場合は近寄らずそっとその場を離れましょう。とはいえ、前述のようにマムシはじっとしていることが多く、体も保護色のため存在に気付けず踏んでしまい咬まれてしまうこともあります。マムシが生息していそうな水辺を歩く際は、誤って踏んでしまった時のために足元の露出を避け、長靴を履いておけば安心です。

## \*マムシに咬まれてしまったら

マムシは毒蛇のため、咬まれてから時間が経つと腫れや視力低下などの症状が起き、最悪の場合は死に至ります。とはいえ、咬まれてからすぐに毒が全身に回るというわけではありません。咬まれてしまった場合は無理して歩行などをせず、安静にして救急車を呼びすぐに病院を受診してください。咬まれた蛇がマムシか判別できない場合は、写真に収めるなどして記録しておき

## 毒性はマムシやハブの数倍?恐ろしい毒蛇ヤマカガシとは

ヤマカガシはナミヘビ科に分類される日本在来の蛇で、北海道や一部の離島を除き、日本全国に広く生息しています。アズマヒキガエルなどのカエルやトカゲを好んで食べます。体長は70~150cm、体色は生息域によって異なり、西日本では、赤みのない個体、青色が強い個体、黒っぽい個体などさまざまです。猛毒を持つ毒蛇で、その毒性はハブの10倍、マムシの3倍と言われています。強い毒性を持っていますが、臆病で大人しい性格で、身の危険を感じない限り人間を攻撃することは少ないと言われています。そのため、ヤマカガシに遭遇した際は刺激せず、放置するのが一番です。





## ヤマカガシに噛まれたら

まず落ち着こう・・咬まれてしまったときに慌ててしまうと、血流が良くなり毒が全身に回るのが早まってしまいます。まずは深呼吸を繰り返して気持ちを落ち着かせましょう。また、ハチなどに刺された際、患部から毒を吸い出すポイズンリムーバーというアイテムで、応急処置を行うことも可能です。

**速やかに病院で受信・**・毒蛇に咬まれた時は、何もしないのが間違いではない」と言われます。これは、やるべきことよりも、やってはいけないことのほうが多いためです。速やかに外科や総合病院などを受診し、蛇に咬まれたことを伝えましょう。

症状・・咬まれてから 10~60 分の間に見られる症状として、患部からの出血や頭痛があります。頭痛が現れない場合もあるようです。患部の腫れや痛みもありますが、比較的軽い症状と言われています。このため、「毒のない蛇に咬まれた」と勘違いしてしまうこともあり、注意が必要です。

4~30 時間が経過すると、歯肉や鼻、眼底など全身に出血が見られるようになり、吐血や血尿などが見られます脳出血を起こして、亡くなったケースもあります。その他に嘔吐や発熱、視力障害などを発症する場合も。

ヤマカガシに咬まれた人の半数が急性腎不全を発症し、慢性化させてしまう恐れもあります。咬まれてしまったら早急の治療が必要です

資料提供ろくろしの野人

## マダニ刺されの予防策

マダニの寿命は、1から3年程度です。春から秋にかけて、活動が活発化します。

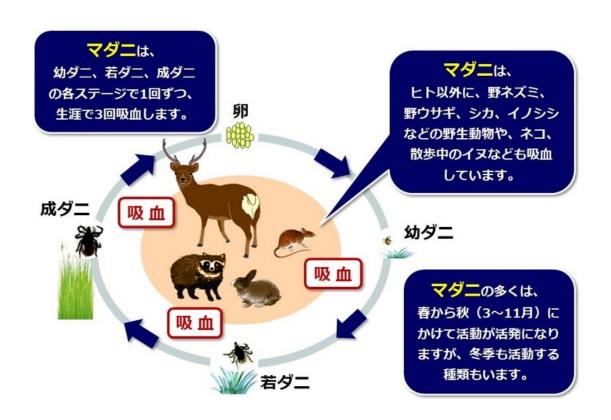
マダニは、家庭内に生息しているダニとは違い、山林や裏庭といったイノシシやシカ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



吸血前のマダニ



吸血後のマダニ



## キャンプ中の対策

キャンプ中は、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。ディートやピカリジン含有の虫よけスプレーもマダニに効果があります。草むらや水辺など、ダニが多く生息する場所には近づかないようにしましょう。

#### 帰宅後の対策

帰宅したらすぐにシャワーを浴びて、全身をチェックすることが大切です。マダニは髪の 毛、耳の裏、脇の下、股関節など、皮膚の柔らかい部分に潜みやすいので、重点的に確認 してください。衣類は可能であればすぐに高温で洗濯し、乾燥機でしっかりと乾かすことで、付着したダニを駆除できます。テントや寝袋などのキャンプ用品も、天日干しや消毒を行いましょう。

## キャンプでダニに刺された時の対処法は?

キャンプ中にダニに刺された場合は、応急処置としてダニ除去器具を使って取り除き、その後に必ず医療機関を受診することが重要です。無理に手で取り除こうとすると、ダニの口器が皮膚内に残り炎症を起こしたり、感染症のリスクを高めたりする可能性があります。

## ダニに刺された時の応急処置と注意点

## 除去方法

ダニに刺された場合は、ピンセットのような専用のダニ除去器具を使いましょう。ダニの 頭をつかみ、ねじるように回転させると取ることができます。大きなダニの場合は、吸血 している部分をスリットにはめてゆっくり引き上げます。これはあくまで応急処置であり、 決して手で無理やり引っ張ってはいけません。ダニの口器が皮膚内に残ると、腫れや感染 症の原因になります。

#### その後の対応

ダニを除去したら、刺された箇所を消毒し、数日間は体調の変化に注意してください。発 熱や倦怠感などの症状が出た場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。ダニが媒介する 感染症には潜伏期間があるため、症状がすぐに出なくても油断はできません。

## キャンプ ムカデ対策

## • ムカデの習性

- ムカデは夜行性で、狭く湿った場所や暗い場所を好みます。
- テントや靴の中、落ち葉や石の下などに潜んでいることがあります。
- 臆病な性格ですが、接触すると噛みつくことがあります。
- 活動期間は3月から10月で、特に6月から8月が活発です。
- 毒を持っており、噛まれると激痛や腫れ、頭痛、発熱などの症状が出ることがあります。

• 予防策

0

- 。 **虫よけスプレーの使用**: イカリジンやディート配合の虫よけスプレーをこまめに塗布する。
- 服装:白系の服装を選び、肌の露出を避けます。
- 。 テント周りの対策:
- テントの周りにムカデ駆除剤(粉剤など)を散布します。
- 蚊取り線香やベープ、ポータブル虫よけ器も効果的です。

○ 靴や荷物の確認:

- 靴を履く前に逆さにして振動を与え確認する習慣をつけましょう。
- 靴下をひっくり返して靴にかぶせる、棒に靴をかけて地面から離すなどの方法で、ムカデの侵入を防ぐことができます。
- テント内や靴の中にムカデが入らないよう注意します。

□ 環境整備:

- 食べ物やゴミは密閉し、匂いが漏れないように注意します。
- ムカデのエサとなるゴキブリなどの虫を駆除することも有効です。
- ムカデが嫌う樟脳、ヒノキ、ハッカ、ローズマリーなどのハーブの香りを利用するのも良いでしょう。
- 噛まれた場合の対処法
- 噛まれたら、患部の毒を絞り出しながら水で冷やして洗い流します。
- 。 ポイズンリムーバーで毒を吸い出すのも有効です。
- 抗ヒスタミン含有のステロイド軟膏を塗り、腫れがひかない場合は速やかに医療機関を受診してください。ムカデの毒はスズメバチの毒に似ているため、軽視しないことが重要です。



世界には3,000種、日本には130種のムカデが確認されています。

## 確実で簡単なムカデ対策



## ムカデを追い出す確実な方法

靴を履く前に靴を逆さまにして強めにトントンと振動を加えればムカデが進入していれば落ちてくる